

1 5. 人口統計

(2011年11月10日授業)

2011/11/10

人口に関する公的統計

- 静態的なもの: 特定時点のスナップショット
 - 「国勢統計(国勢調査)」(総務省)
- 動態的なもの: 一定期間内の増減を捉える
 - 「人口動態統計」(厚生労働省)
 - 出生、死亡
 - 「出入国管理統計」(法務省)
 - 「登録外国人統計」(法務省)
 - 「住民基本台帳人口移動報告」(総務省)
 - 都道府県を跨ぐ移動
- 加工統計
 - 「人口推計」(総務省)

自然動態

社会動態

2011/11/10

国勢調査(国勢統計)

- 所管: 総務省(統計局)
- 分類: 基幹統計(全数調査)
- 調査対象: 調査時点で日本に**常住している者**
 - 外国人も含む
 - 対象外となるもの
 - 外国政府の外交使節団・領事機関の構成員(随員を含む)及びその家族
 - 外国軍隊の軍人・軍属及びその家族
- 調査年: 1910(大正9)年より10年ごと(大規模調査)
 - 大規模調査の中間年(5年)に簡易調査

3か月以上にわたって住んでいるか、住むことになっている者

2011/11/10

国勢調査の調査項目 (国勢調査令第五条)

簡易調査では省略

- 世帯員に関する事項
 - 氏名、性別、出生年月、世帯主との続柄、配偶関係、国籍
 - 現在住居の居住期間、5年前の住居所在地、学歴
 - 就業状態、所属事業所名称および種類
 - 仕事の種類、従業上の地位、従業地又は通学地
 - 従業地又は通学地への利用交通手段
- 世帯に関する事項
 - 世帯の種類、世帯員の数
 - 住居の種類、住宅の床面積、住宅の建て方

2011/11/10

集計表(2010年調査: その1)

- 速報集計
 - 人口速報集計
 - 人口および世帯数の集計(全国、都道府県、市区町村)
 - 抽出速報集計
 - 1/100の調査票を抽出して、主要項目について集計(全国、都道府県、人口20万人以上の市)
- 基本集計
 - 人口等基本集計
 - 人口・世帯数、世帯類型、住居状況、高齢世帯、外国人
 - 産業等基本集計
 - 就業状態、就業者の事業所の産業(大分類)
 - 職業等基本集計
 - 就業者の職業(仕事の種類)(大分類)、母子世帯・父子世帯

半年~1年以内に公表
確定値ではないことに注意

2011/11/10

集計表(2010年調査: その2)

- その他の集計
 - 抽出詳細集計
 - 一部世帯の調査票を抽出
 - 就業者の事業所の産業(小分類)、職業(小分類)の集計
 - 従業地・通学地集計
 - 従業地・通学地人口(昼間人口)および常住地との関係
 - 人口移動集計
 - 2005年調査以降に移動した人口を集計
 - 小地域集計
 - 市区町村ごとに、基本集計等の項目をより小さな地域(町丁レベル)別に集計

2011/11/10

人口動態調査(人口動態統計)

7

- 所管:厚生労働省
- 分類:基幹統計(全数調査)
- 報告義務者(調査対象):市町村長
- 市町村に届出のあった
 - 出生届、死亡届、**死産届**
 - 婚姻届、離婚届
 をもとに毎月報告

戸籍法
および
死産の届出に関する規定
により届出義務がある。

定義:妊娠4月以後(=12週以後)における死児の出産
人工妊娠中絶(=人工死産)を含む

2011/11/10

人口動態統計から得られる指標・情報(1)

8

- 出生に関して
 - 出産時の母親の年齢、出生順位(何番目の子か)
 - 出生率

$$\text{出生率(年間)} = \frac{\text{年間出生数}}{10月日現在日本人口} \times 1,000$$
 - 母の年齢別(x歳)出生率

$$BR(x) \equiv \text{出生率(母年齢}x\text{歳:年間)} = \frac{x\text{歳日本人女性の年間出生数}}{10月日現在}x\text{歳の日本人女性人口} \times 1,000$$
 - 合計特殊出生率(Total Fertility Rate: TFR)

$$TFR = \sum_{x=15}^{49} \frac{BR(x)}{1,000} = \sum_{x=15}^{49} \frac{x\text{歳日本人女性の年間出生数}}{10月日現在}x\text{歳の日本人女性人口}$$
- パーミル(permil; ‰)を単位とする
- 1人の女性が仮にその年の年齢別出生率で一生の間に生むとした時の子供数に相当
- 2011/11/10

人口動態統計から得られる指標・情報(2)

9

- 死亡に関して
 - 死亡時年齢、死亡場所(医療施設等、自宅、その他)
 - 死因
 - 不慮の事故、交通事故の種類
 - 自殺の手段
- 死産に関して
 - 死産時妊娠期間、母年齢
 - 死産種類(人工/自然)
 - 嫡出子、非嫡出子の別
- 周産期、乳児、新生児の死亡は個別に作表

2011/11/10

人口動態統計から得られる指標・情報(3)

10

- 婚姻に関して
 - 婚姻形態(初婚一再婚の組合せ)
 - 平均婚姻年齢、夫婦の年齢差、初婚年齢
 - 外国人との婚姻
- 離婚に関して
 - 離婚種類(協議、調停、審判、和解、認諾、判決)
 - 平均同居期間、親権を執行する子の数等
 - 外国人との離婚
- 日本における外国人、外国における日本人は別途集計

2011/11/10

出入国管理統計

11

- 所管:法務省
- 分類:業務統計(出入国管理令に基く)
- 毎月以下の情報を公表(下線以外は年公表)
 - 出入国(帰国)者数
 - 港(空港を含む)、国籍
 - 外国人については、在留資格、年齢、滞在期間、入国目的
 - その他
 - 入国審査手続、在留資格審査等手続、退去強制手続
 - 外国人登録人数

2011/11/10

登録外国人統計

12

- 所管:法務省
- 種類:業務統計(外国人登録法に基く)
- 年1回以下の情報を公表
 - 国籍(出身地)、性別、年齢
 - 在留資格
 - 登録市区町村

2011/11/10

人口推計

13

- 国勢調査の実施間の各年月の人口状況を把握する目的で作成
 - 毎月1日現在推計人口(月次)
 - 全国推計人口(合計、男女別、年齢(5歳階級)別)
 - 毎年10月1日現在推計人口(年次)
 - 全国推計人口(男女別、年齢別)
 - 都道府県推計人口(男女別、年齢(5歳階級)別)
 - 国勢調査結果による補間補正人口
 - 人口推計の結果と国勢調査の結果のズレを調整
 - 全国推計人口(月次)、都道府県推計人口(年次)

2011/11/10

人口推計の算出基本式

14

- 総人口 = 基準人口(国勢調査人口)
+ 自然動態(日本人・外国人)
+ 社会動態(日本人・外国人)
- 自然動態 = 出生者数 - 死亡者数
 - 人口動態統計を使用
 - 社会動態 = 入国者数 - 出国者数
 - 出入国管理統計を使用
 - 日本人人口の算出には上式に加え、国籍移動純増を加算
 - 都道府県別推計人口では、社会動態に都道府県間の純転入を加算(住民基本台帳人口移動報告を使用)

2011/11/10